

# インドネシア・日特建設(株) 実務訓練・海外研修

担当教員：轟 直希

研修場所：日特建設株式会社 インドネシア共和国 ジャカルタ  
<http://www.nittoc-id.co.id/>

研修期間：夏季休業期間中、7～8日間  
引率教員は原則有（往路のみ引率の場合あり）

滞在方法：現地ホテル（2024年度は Horison Ultima Suites & Residences Rasuna）

対象学年：本科4～5年および専攻科

募集人数：最大4名程度

研修内容：日特建設は、他社にはない特殊な技術を生かして海外に進出している企業です。そのような現場を通じて、国内での工事と海外での工事の違いを学び、今後国際的に活躍する技術者に向けて、それらの知見を深めるための研修を行います。プログラムは以下のとおりです。  
なお、建設機械等も含まれるため、C科・CE系に限らず参加可能です。

- ・日本の本社における渡航前研修(1日)
- ・現地におけるの現場研修、JICAや日本大使館訪問(3日)
- ・研修にて得られた知見のまとめおよび報告会(1日)
- ・インドネシア国内のインフラ見学(2日・参加者の希望に応じて)

費用：合計25万円程度

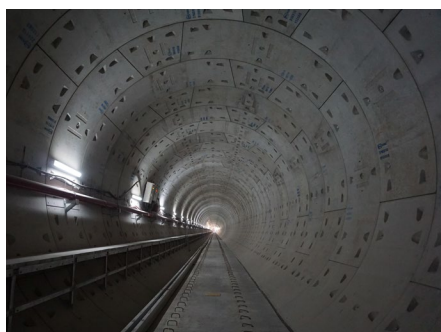
内 訳	金 額	備 考
現地経費（移動・食費等）	30,000円	
宿泊費	35,000円	2名1室利用により安くすることが可能
航空機代	150,000円	時期等により若干の変動あり
ビザ申請費	20,000円	先方にご準備いただける可能性あり
海外旅行保険	5,000円	
その他	10,000円	国内移動等
合 計	250,000円	

そ の 他：建設分野における高度な技術を学ぶことができるとともに、JICAや日本大使館等への訪問を通じて、日本の技術援助のあり方を学ぶことができます。インドネシアでは、90%以上がイスラム教徒です。そのことを十分理解して行動しなくてはなりません。  
現地でのコミュニケーションでは英語を利用することも多いので、日常会話程度の英語力があるとなお良いでしょう。

現地の機材センター見学の様子（建設機械メンテナンスや機材・部品の管理が重要です）



現場見学の様子（発電所や MRT、下水施設等のインフラ建設現場を見学します）



世界遺産の見学  
インドネシアの京都とも言われるジョグジャカルタの  
世界遺産の見学も可能です。  
ポロブドゥール寺院（写真上）  
プランバナン寺院（写真下）

※希望に応じて、バリ島の  
ヒンズー寺院・遺跡でも可。



食事の様子

左からソトアヤム（鶏肉スープ）、ナシゴレン（旨辛焼き飯）  
サテ（焼き鳥）とスープ（辛くないものも多いです）

